

[異常時通報連絡の公表文（様式1-1）]

伊方2号機アスファルト固化装置補助蒸気供給配管からの蒸気漏れについて

21.11.12  
原子力安全対策推進監  
(内線2352)

[異常の区分]

国への法律に基づく報告対象事象	有 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span> [評価レベル - ]	
県の公表区分	A ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span> ・ C	
外部への放射能の放出・漏えい	有 ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">無</span> [漏えい量 - ]	
異常の概要	発生日時	21年11月12日10時30分
	発生場所	1号・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2号</span> ・3号・共用設備
		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">管理区域内</span> ・ 管理区域外
種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">設備の故障、異常</span></li> <li>・ 地震、人身事故、その他</li> </ul>	

[異常の内容]

11月12日(木)11時15分、四国電力(株)から、別紙のとおり、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 1 通常運転中の2号機において、本日10時30分、アスファルト固化装置補助蒸気供給配管の保温材表面から蒸気の漏えいを確認した。
- 2 今後、詳細調査を行う。
- 3 本事象による環境への放射能の影響及びプラントへの影響はない。

その後、四国電力(株)から、

- 事象発生時、アスファルト固化装置で廃液処理は実施していなかったが、アスファルト貯蔵タンク等の加温のために蒸気を供給していた。
  - 当該配管を隔離し、本日11時15分に漏えいは停止した。
  - 保温材を取り外した結果、当該配管に直径約1mmの貫通穴を1箇所確認した。
  - 当該配管は取り替えることとする。
  - 漏えいした蒸気の一部が凝縮して床に溜まっており、念のため分析したところ、当該溜水から放射能は検出されなかった。
  - 廃液貯蔵タンクの受け入れ容量には余裕があり、アスファルト固化装置を停止しても支障はない。
- との連絡があった。

県では、八幡浜保健所の職員を伊方発電所に派遣し、現場の状況等を確認しております。

(伊方発電所及び周辺の状況)

原子炉の運転状況	1号機	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">運転中 (出力 99%)</span>	・ 停止中
	2号機	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">運転中 (出力100%)</span>	・ 停止中
	3号機	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">運転中 (出力103%)</span>	・ 停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">通常値</span>	・ 異常値
周辺環境放射線の状況		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">通常値</span>	・ 異常値